

消防団たずね歩き

第13回神戸市消防団小型ポンプ操法大会奮闘記

平成29年5月、長田消防団総会にて「5分団が出場します」と勢いよく手を挙げてしまったものの、団員の中から練習に参加できるメンバーを選出すると、50代が4人、30代が1人の平均年齢50.4歳の高齢チームとなりました。

最初は「けがをしないように」「参加するだけ」と思っていたのですが、いざ6月から練習をはじめると、メンバーの気持ちが高まっていき、「上位入賞するぞ!」という気持ちに変わっていきました。練習も月に2回程度でいいと思っていたのですが、3回、4回と増えていきました。

時には他の消防団の練習をストップウォッチを持って偵察に行ったこともありました。

平成29年10月29日の大会当日、台風22号の影響で、まさかの「雨天中止」。メンバーは「今までがんばってきたのに」と、悔しい思いでいっぱいでした。

メンバーもすっかり普段の生活に戻り、年末特別警戒に向けて準備をしていた12月。「記録会として3月におこなう」との情報が入りました。

年が明け、気持ちを入れかえ、そろそろ練習を始めようかと思っていた矢先、メンバーの一人が腰の手術をすることになってしまいました。

棄権も視野に入れて悩んでいたところ、

34歳の若手が入団、訓練礼式やホース延長からとりくみ、記録会に出場することとなりました。

3月25日の記録会当日、危がまれることのない晴天の中、無事競技することができました。

結果はともかく、この10カ月間、心をひとつにしてきたことで分団の絆を一層深めることができました。

練習の支援をしていただいた団長をはじめ各分団の皆さん、指導していただいた消防署の皆さん、そして、文句も言わず協力してくれた家族の皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(長田消防団第5分団
分団長 原田和行)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

